

1989 平成元年度

02 開館初期 1989-1995年度

1989年度の出来事

- ▶ **美術館**
 - ・2月28日、外構工事（前年度）
 - ・3月25日、横浜博覧会パビリオンとして美術館開設（前年度）
 - ・11月3日、横浜美術館条例施行・正式開館
 - ・人事：初代館長に河北倫明が就任
 - ・事業：子どものアトリエ、市民のアトリエでのプログラムを開始
 - ・事業：美術情報センター（美術図書室・美術情報ギャラリー）（現：美術図書室）
 - ・事業：初の自主企画展として「錦木清方展」を開催
 - ・営業渉外：グランドギャラリー等でギャラリーコンサートを開始（-2008年度）
 - ・来館者数：1,127,386人
- ▶ **横浜市**
 - ・3月25日、横浜博覧会 YES'89開幕。パビリオンのひとつとして横浜美術館開設（前年度）
 - ・横浜アリーナ開場。日本火災海上保険横浜支店を保存再生した日本火災横浜ビル成る
 - ・横浜市吉野町市民プラザ開館
 - ・横浜美術館条例施行、横浜美術館開館
- ▶ **国内文化**
 - ・吉野ヶ里遺跡で最大の環濠集落発見（前年度）
 - ・『日本美術院百年史』刊行開始
 - ・広島市現代美術館開館
 - ・麻布美術工芸館（東京）開館
 - ・ザ・ミュージアム Bunkamura（東京）開館
 - ・セゾン美術館（東京）開館
 - ・飯田市美術博物館（長野）開館
 - ・秋田市立千秋美術館開館
 - ・浦添市美術館（沖縄）開館
 - ・水戸芸術館（茨城）開館
- ▶ **国内外の動向**
 - ・昭和天皇崩御。皇太子明仁親王、天皇即位。「平成」と改元（前年度）
 - ・ジョージ・H・W・ブッシュ、アメリカ大統領就任（前年度）
 - ・大喪の礼（前年度）
 - ・消費税3パーセント課税
 - ・天安門事件（中国）
 - ・ミハイル・ゴルバチョフ、ソ連大統領就任
 - ・ベルリンの壁崩壊（ドイツ）

月

1989年度

みる（展覧会）

- 企画展
- コレクション展
- その他

つくる
（子どものアトリエ）

事業等

つくる
（市民のアトリエ）

まなぶ
（美術情報センター、
研修、
シンポジウム等）

上映会、展覧会関連、
パフォーマンス等

国際発信

出版

4月

5月

6月

7月

8月

▶別表01

メトロポリタン美術館名品展—フランス美術500年—（3月-6月）

コレクション展（3月-10月）



横浜美術館開館記念式典および「メトロポリタン美術館名品展」オープニングセレモニー（3月）

▶別表02

・子どもの目・子どもの絵—国際児童画展（3月-10月）
・元気な顔展（3月-10月）



「元気な顔展」の展示風景

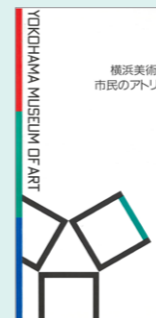


子どものアトリエのリーフレット

▶別表03



横浜博覧会で公開された市民のアトリエの版画室と立体室（4月-6月）



市民のアトリエのリーフレット

▶別表04,05

▶別表06

▶別表01-04

▶別表07

・『ピコラ』第1号（3月）

ニューヨーク・ニューアート チェース マンハッタン銀行コレクション展（6月-10月）



「ニューヨーク・ニューアート展」での公開制作

・人形劇、即興人形劇
・ブチ・シルエット劇場、名作影絵劇



「人形劇」の紹介記事








美術図書室



美術情報ギャラリー

・『ピコラ』第2号

・『ピコラ』第3号

月	1989年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業等	みる(展覧会)	▶別表01 ニューヨーク・ニューアート チェース マンハッタン銀行 コレクション展(6月-10月) コレクション展(3月-10月)		第3回アジア美術展—日常の中の象徴性—(11月-12月) 常設展 第I期(11月-12月)		鑑木清方展(1月-2月) 常設展 第II期(1月-2月)		常設展 第III期 [全館常設展](2月-4月)	
	つくる(子どものアトリエ)			学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン ・第1回子どものための凧の展覧会 (11月-12月)			 日曜造形講座 粘土クラブ(2-3月)		
	つくる(市民のアトリエ)			一般講座 研究会 ・関口敦仁 公開制作 	 テイクア ピクチャーメイカピクチャー		 4つの陶器		
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表 04.05					展覧会関連イベント		
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06							
	国際発信	▶別表 01-04							
	出版	▶別表07	・『ピコラ』第4号	・『横浜美術館 NEWS』No.02 ・『横浜美術館美術図書室蔵書目録』 				・『ピコラ』第5号	



「鑑木清方展」のタイトルパネル

1990 平成2年度

02 開館初期 1989-1995年度

1990年度の出来事

- ▶美術館
 - ・事業:美術情報センター(現・美術図書室)が実験映画等の上映会を開催
 - ・事業:美術館ニュース「RGB」発行開始(-2005年度)
 - ・運営:5月、横浜美術館振興懇談会「6つの課題と方策『“美”と遊べる場』実現するために(提言)」
 - ・来館者数:990,818人
- ▶横浜市
 - ・横浜市旭区民文化センター「サンハート」開館
- ▶国内文化
 - ・芸術文化振興基金創設、特殊法人日本芸術文化振興会発足
 - ・DIC川村記念美術館(千葉)開館
 - ・ゴッホ《医師ガシェの肖像》、日本企業が125億円で落札
 - ・東京都写真美術館開館
 - ・札幌芸術の森美術館(北海道)開館
 - ・福岡市博物館開館
 - ・徳島県立近代美術館開館
 - ・公立美術館へのハイビジョン導入方針決定(自治省、文部省)
 - ・平塚市美術館(神奈川)開館
 - ・芦屋市立美術館(兵庫)開館

月

1990年度

みる(展覧会)

- 企画展
- コレクション展
- その他

つくる
(子どものアトリエ)

事業等

つくる
(市民のアトリエ)

まなぶ
(美術情報センター、
研修、
シンポジウム等)

上映会、展覧会関連、
パフォーマンス等

国際発信

出版

4月

5月

6月

7月

8月

▶別表01

ポール・デルボー展(4月-5月)

バルセロナ・アヴァンギャルド Part 1、2(4月-7月)

常設展 第I期(5月-7月)

スポーツカーの美学 天才ボルシェ博士の遺産(7月-8月)

常設展 第II期(7月-10月)



美術館外壁に投影された「デルボー展」の夜間告知

▶別表02

学校のためのプログラム

個人の造形講座

親子のフリーゾーン



親子のフリーゾーン

▶別表03

一般講座

研究会



バスケットリー(4月-7月)



版画研究会



版画室

・中学生講座

▶別表
04,05

教員向け研修

展覧会関連イベント

▶別表06

・ポール・デルボー展 レーザーディスク上映会(4月-5月)

・横浜美術館 映画上映会

・横浜美術館 映画上映会

・横浜美術館 映画上映会

▶別表
01-04

▶別表07

・「ピコラ」第6号



月	1990年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 コレクション展 その他 	<p>▶別表01</p> <p>大観と観山展(9月-10月)</p> <p>常設展 第II期(7月-10月)</p>		<p>開館1周年記念 西洋の名画展 スイスビューロー・コレクション特別公開(11月-1月)</p> <p>常設展 第III期(11月-1月)</p>  <p>「西洋の名画展」の内覧会</p>		<p>[リー・ミラーの写真]展 —20世紀に何を見たか(1月-2月)</p> <p>常設展 第IV期(2月-4月)・全館常設展(3月)</p>		
	つくる(子どものアトリエ)	<p>▶別表02</p> <p>学校のためのプログラム</p> <p>個人の造形講座</p> <p>親子のフリーゾーン</p>  <p>日曜造形講座 お絵描きクラブ(9月)</p>			<p>・第2回子どものための凧の展覧会(12月-1月)</p>			
つくる(市民のアトリエ)	<p>▶別表03</p> <p>一般講座</p> <p>研究会</p> <p>・講座修了生(有志)作品展</p>  <p>写真 不自由な道具と自由な表現(9月-12月)</p>		<p>・井川惺亮WS</p> 		<p>・版画研究会生(有志)作品展(1月-2月)</p>	<p>・講座修了生(有志)作品展</p>		
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	<p>▶別表04.05</p> <p>教員向け研修</p> <p>展覧会関連イベント</p>						
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	<p>▶別表06</p> <p>・大観と観山展 美術映画上映会(9月-10月)</p>		<p>・「西洋の名画展」美術映画上映会(11月-1月)</p>			<p>・横浜美術館 映画上映会</p>	<p>・横浜美術館 映画上映会</p>	
国際発信	<p>▶別表01-04</p>							
出版	<p>▶別表07</p>			<p>・「ピコラ」第7号</p>		<p>・「RGB」No.1</p> 	<p>・「ピコラ」第8号</p> <p>・「RGB」No.2</p>	

1991 平成3年度

02 開館初期 1989-1995年度

1991年度の出来事

▶美術館

- ・ゲストキュレーター制度採用
- ・来館者数:555,276人

▶横浜市

- ・横浜国際平和会議場が完成
- ・財団法人横浜市文化振興財団設立
- ・岩間市民プラザ開館
- ・「第1回国際コンテンポラリー・アートフェア (NICAF YOKOHAMA '92)」開催 (会場:パシフィコ横浜)
- ・財団法人横浜市美術振興財団の理事長に河北倫明就任

▶国内文化

- ・堂本印象記念振興財団発足 (京都)
- ・桂離宮 (京都) の解体修理終了
- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川) 開館
- ・税制調査会、メセナ活動の減税検討

▶国内外の動向

- ・東京都庁舎、新宿副都心に移転
- ・海上自衛隊、ベルシャ湾掃海派遣
- ・雲仙普賢岳で大火砕流発生
- ・ユーゴスラビア内戦始まる
- ・日本電気 (NEC) が「PC-9801NC」を発売
- ・宮澤喜一内閣発足
- ・ソビエト連邦崩壊
- ・東海道新幹線で「のぞみ」が運転開始
- ・日本のバブル経済崩壊

1991年度

月

みる (展覧会)

- 企画展
- コレクション展
- その他

つくる
(子どものアトリエ)

つくる
(市民のアトリエ)

事業等

まなぶ
(美術情報センター、
研修、
シンポジウム等)

上映会、展覧会関連、
パフォーマンス等

国際発信

出版

4月

5月

6月

7月

8月

▶別表01

生誕100年記念 マン・レイ展
自由なる美の冒険者 (4月-5月)

平成2年度文化功労者・記念
渡辺義雄写真展 (5月-6月)

大地と人と建築 フランク・ロイド・
ライト回顧展 (5月-6月)

常設展 第1期 (4月-6月)

常設展 第2期 (7月-11月)

生誕100年記念展
長谷川潔の世界 (8月-9月)

アムネスティフリーダム
'90s ポスター展
(8月-9月)

「長谷川潔の世界」展
オープニングのテープカット

展示名	展示期間	展示場所	担当
生誕100年記念 マン・レイ展	4月1日-5月1日	本館1階	山本 浩
平成2年度文化功労者・記念 渡辺義雄写真展	5月1日-6月1日	本館1階	山本 浩
大地と人と建築 フランク・ロイド・ライト回顧展	5月1日-6月1日	本館1階	山本 浩
アムネスティフリーダム '90s ポスター展	8月1日-9月1日	本館1階	山本 浩
長谷川潔の世界	8月1日-9月1日	本館1階	山本 浩

常設展第1期の目録

▶別表02

学校のためのプログラム

個人の造形講座

親子のフリーゾーン

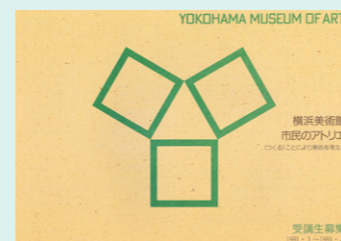
・子どもの日 高田みどりコンサート

▶別表03

一般講座

研究会

・講座修了生 (有志) 作品展 (4月-5月)



「横浜美術館 市民のアトリエ 受講生募集 1991.1-4」

・公開制作 スリーエス / 崎間桜雄
・スリーエス / 崎間桜雄 展示



公開制作「スリーエス」

・中学生講座
・講座修了生 (有志) 作品展

▶別表04.05

教員向け研修

展覧会関連イベント

▶別表06








マン・レイ展 映画会 (4月-5月)

・フランク・ロイド・ライト展 美術映画上映会

▶別表01-04

▶別表07

・「RGB」No.3
・「ピコラ」第9号

月	1991年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 コレクション展 その他 	▶別表01 誕生100年記念展 長谷川潔の世界(8月-9月) 常設展 第II期(7月-11月) アムネスティフリーダム '90s ポスター展(8月-9月)	セルフ:1961-1991 ルーカス・サマラス展(10月-12月) 傳益瑤水墨画展(10月)	コンテンポラリーグラス チェコスロバキア6人の巨匠展(10月-11月)	常設展 第III期(11月-3月)	誕生100年記念 ミロ展 ビエール・マティスコレクション初公開(1月-3月)		
		▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン			・第3回子どもための展覧会(12月-1月)		 日曜造形講座 スタンプングで遊ぼう(1月-2月)	 ・ロサンゼルスの子どもたち展
つくる(子どものアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会	 研磨土器(9月-12月)		 青と白(9月-12月)	 彫刻の魅力を探る(9月-12月)	・版画研究会生(有志)作品展		
		 テラコッタ彫刻(头像)(1月-3月) ・講座修了生(有志)作品展		 描くことと物の間で(1-3月)				
つくる(市民のアトリエ)	▶別表04.05 教員向け研修 展覧会関連イベント					展覧会関連イベント		
まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表06 ▶別表01-04							
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表07							
国際発信								
出版		・「RGB」No.4	・「ピコラ」第10号	・「RGB」No.5		・「ピコラ」第11号	・「RGB」No.6 ・「中村文庫目録：横浜美術館」	

1992 平成4年度

02 開館初期 1989-1995年度

1992年度の出来事

▶美術館

- ・事業:美術館教育普及国際シンポジウムを開催
- ・事業:美術情報センター(現・美術図書室)が美術史講座を断続的に開講(-2001年度)
- ・組織:総務部、学芸部と並び美術学習部(美術情報課(現・美術図書室)、アトリエ課)を新設し三部制に
- ・組織:第2代館長に弦田平八郎が就任
- ・来館者数:541,465人

▶横浜市

- ・平木浮世絵美術館(そごう横浜店内)開館
- ・横浜市区民文化センター条例施行

▶国内文化

- ・静嘉堂文庫美術館(東京)開館
- ・『みづゑ』(美術出版社)休刊
- ・愛知芸術文化センター開館
- ・郡山市立美術館(福島)開館
- ・江戸東京博物館開館
- ・自治省、公立美術館の全国的ネットワークづくりに着手

▶国内外の動向

- ・ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争
- ・ロス暴動発生(アメリカ)
- ・山形新幹線開業
- ・ビル・クリントン、アメリカ大統領就任
- ・能登半島沖地震

月

1992年度

みる(展覧会)

- 企画展
- コレクション展
- その他

つくる
(子どものアトリエ)

事業等

つくる
(市民のアトリエ)

まなぶ
(美術情報センター、
研修、
シンポジウム等)

上映会、展覧会関連、
パフォーマンス等

国際発信

出版

4月

5月

6月

7月

8月

▶別表01

ゴッガンとル・ブルデュの画家たち 新たなる芸術を夢みて(4月-5月)

常設展 第1期(4月-8月)



横浜・桜木町駅前、「ゴッガンとル・ブルデュの画家たち」展のビルボード

版画芸術の饗宴 ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992(6月-7月)

マンフレッド・シュトンフ展(6月-7月)

ベルリン東洋美術館 名品展(8月-9月)

▶別表02

学校のためのプログラム

個人の造形講座

親子のフリーゾーン



・夏休み造形講座 イートアートクラブ

▶別表03

一般講座

研究会

・講座修了生(有志)作品展

・ケネス・タイラー展
WS & レクチャー



・中学生講座
・講座修了生(有志)作品展

▶別表04,05

教員向け研修

展覧会関連イベント

展覧会関連イベント

▶別表06

▶別表01-04

▶別表07









・美術館教育普及国際シンポジウム1992

・「RGB」No.7
・「ピコラ」第12号



国際シンポジウムの報告書と記念誌

月	1992年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	<p>○企画展 ○コレクション展 ○その他</p> <p>▶別表01</p>	<p>ベルリン東洋美術館名品展(8月-9月)</p> <p>常設展 第2期(9月-12月)</p> <p>郭徳俊展(9月-10月)</p>	<p>開館3周年記念展 コーニング・ガラス美術館名品展—3500年の輝き(10月-12月)</p> <p>ガストン・ブティ展(10月-11月)</p>  <p>「ガストン・ブティ展」の展示風景</p>	<p>バルティル & ウルリカ・ヴァーリン ガラスアート展(11月-12月)</p>	<p>常設展 第3期(12月-4月)</p>	<p>斎藤義重による斎藤義重展—時空の木(1月-3月)</p>  <p>「斎藤義重展 記念映画会」でトークする斎藤(左)</p>		
つくる (子どものアトリエ)	▶別表02	<p>学校のためのプログラム</p> <p>個人の造形講座</p> <p>親子のフリーゾーン</p>						
事業等	▶別表03	<p>一般講座</p> <p>研究会</p>  <p>機巧輪(カラクリン)(10月-11月)</p>				<p>基本立体からの発想(1月-3月)</p>  <p>現代美術って何(1月-3月)</p> 	<p>講座修了生(有志)作品展</p>  <p>テラコッター土に触れる(2月-3月)</p>	
まなぶ (美術情報センター、 研修、 シンポジウム等)	▶別表 04.05	<p>教員向け研修</p>	<p>展覧会関連イベント</p> <p>・美術史講座(10月-11月)</p>					
上映会、展覧会関連、 パフォーマンス等	▶別表06			<p>・横浜美術館 映画上映会</p>			<p>・斎藤義重展 記念映画会</p>	
国際発信	▶別表 01-04							
出版	▶別表07	<p>・「RGB」No.8</p>	<p>・「ピコラ」第13号</p>			<p>・「RGB」No.9</p>	<p>・「ピコラ」第14号</p>	<p>・「横浜美術館年報」1号</p>

1993 平成5年度

02 開館初期 1989-1995年度

1993年度の出来事

▶美術館

- ・事業:アレクサンドラ・モンローをゲスト・キュレーターとして、「戦後日本の前衛美術」展を開催
- ・組織:第3代館長に陰里鐵郎が就任
- ・来館者数:1,327,380人

▶横浜市

- ・緑区民文化センター フィリアホール開館
- ・横浜・八景島シーパラダイス開園
- ・横浜ランドマークタワー開業
- ・泉区民文化センター テアトルフォンテ開館
- ・「横濱ジャズプロムナード」開始



▶国内文化






- ・新潟県立近代美術館開館
- ・高知県立美術館開館
- ・宮内庁三の丸尚蔵館(東京)開館
- ・法隆寺、姫路城、屋久島、白神山地、日本で初の世界遺産登録
- ・文化政策推進会議提言
- ・静岡県立美術館にロダン館完成

▶国内外の動向

- ・皇太子徳仁親王と小和田雅子の結婚の儀
- ・宮澤喜一内閣、内閣不信任案可決
- ・第19回先進国首脳会議(東京サミット)
- ・北海道南西沖地震
- ・細川護熙内閣(非自民・非共産連立政権)発足、55年体制崩壊
- ・マーストリヒト条約発効、欧州連合(EU)発足
- ・「Jリーグ」が流行語、「ドーハの悲劇」

月	1993年度
みる(展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展 ○コレクション展 ○その他
つくる(子どものアトリエ)	
つくる(市民のアトリエ)	
まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	
国際発信	
出版	

月	4月	5月	6月	7月	8月
▶別表01	常設展 第1期(4月-8月)・全館コレクション展(4月-5月)		ルーヴル美術館200年展 名画でたどるコレクションの歩み(5月-7月)		リール市美術館所蔵 バロック・ロココの絵画 ヴェネツィア派からゴヤまで(8月-10月)
▶別表02	学校のためのプログラム		賈又福 中国画展(5月-6月)		レン・ジェンシェル展(7月)
	個人の造形講座				
	親子のフリーゾーン				
			油絵を描いてみよう(6月-7月)		夏休み特別イベント
▶別表03	一般講座		研究会		中学生講座
	<ul style="list-style-type: none"> ・講座修了生(有志)作品展 ・「コピーマシンによるアート」展 		<ul style="list-style-type: none"> ・公開制作 カラーコピーマシンによるアートWS・レクチャー ・「コピーマシンによるアート」WS展 		<ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセス資料展 ・講座修了生(有志)作品展
					
			公開制作 ハワードプロセスレクチャー・WS		
▶別表04,05	教員向け研修		展覧会関連イベント		
▶別表06			横浜美術館 映画上映会		
▶別表01-04					
▶別表07	・[RGB] No.10		・[ピコラ] 第15号	・[RGB] No.11	

月	1993年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	○企画展 ○コレクション展 ○その他	▶別表01 リール市美術館所蔵 バロック・ロココの絵画 ヴェネツィア派からゴヤまで (8月-10月) 常設展 第2期 (9月-1月) ゲルト・クナッパー オブジェクト展 (9月-10月) フェルナンド・マノテス エステバン展 (10月-11月) ウラジミール・クライン ガラス彫刻展 -日本の印象- (11月-12月)					戦後日本の前衛美術 (2月-3月)	
		 <p>「ゲルト・クナッパー展」の展示風景</p>					 <p>「前衛美術」展の内覧会</p>	
つくる (子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン							
					・風の展覧会パート5 (12月-1月)		・フィレンツェの子どもたち展 (2月-3月)	
事業等 つくる (市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会							
					 <p>フェルトによるオブジェ (11月-12月)</p>		・講座研究会生(有志)作品展 ・版画研究会生(有志)作品展  <p>塑像—具象彫刻の可能性を求めて (1月-3月)</p>	
まなぶ (美術情報センター、 研修、 シンポジウム等)	▶別表04.05 教員向け研修 展覧会関連イベント							
							展覧会関連イベント	
上映会、展覧会関連、 パフォーマンス等	▶別表06							・「戦後日本の前衛美術」展 実験映画上映 ・「戦後日本の前衛美術」展 演劇公演
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07		・「RGB」No.12 ・「ピコラ」第16号			・「RGB」No.13 	・「ピコラ」第17号	・「RGB」No.14

1994 平成6年度

02 開館初期 1989-1995年度

1994年度の出来事

- ▶美術館
 - ・来館者数:528,995人
- ▶横浜市
 - ・ネイラー・コレクションを購入
- ▶国内文化
 - ・秋田県立近代美術館開館
 - ・旭川市彫刻美術館(北海道)開館
 - ・和歌山県立近代美術館開館
 - ・三内丸山遺跡(青森)で大量の遺物出土
 - ・高岡市立美術館(富山)開館
 - ・財団法人地域創造設立
 - ・佐倉市立美術館(千葉)開館
 - ・東京都写真美術館総合開館
 - ・東京都現代美術館開館
- ▶国内外の動向
 - ・ルワンダで集団虐殺
 - ・羽田孜内閣発足
 - ・英仏海峡トンネル開通
 - ・ネルソン・マンデラ、南アフリカ共和国初の黒人大統領となる
 - ・松本サリン事件
 - ・村山富市(日本社会党委員長)内閣発足
 - ・金日成主席死去(北朝鮮)
 - ・フェルマーの最終定理証明
 - ・大江健三郎、ノーベル文学賞受賞
 - ・第一次チェチェン紛争勃発
 - ・阪神・淡路大震災
 - ・オウム真理教による地下鉄サリン事件

月

1994年度

みる(展覧会)

- 企画展
- コレクション展
- その他

つくる
(子どものアトリエ)

事業等

つくる
(市民のアトリエ)

まなぶ
(美術情報センター、
研修、
シンポジウム等)

上映会、展覧会関連、
パフォーマンス等

国際発信

出版

4月

5月

6月

7月

8月

▶別表01

アンドレ・マッソン&ロベルト・マッタ それぞれの宇宙(4月-6月)

コレクション展 第1期(4月-8月)・全館コレクション展(7月)

金恵敬作品展 神話とドラマ(5月-6月)

アナ・メルセデス・オヨス展(7月)

開館5周年記念 シカゴ美術館展
近代絵画の100年(8月-9月)



「マッソン&マッタ」展の内覧会



「シカゴ美術館展」オープニング・レセプション

▶別表02

学校のためのプログラム

個人の造形講座

親子のフリーゾーン



日曜造形講座 スタンドグラスアートだよ(4月-5月)



日曜造形講座 瞬間接着剤で遊ぼう(7月)

・アフリカンサウンド

▶別表03

一般講座

研究会

・造形研究会生(有志)作品展

・講座修了生(有志)作品展



造形研究会

・中学生講座
・講座修了生(有志)作品展

▶別表
04,05

教員向け研修

展覧会関連イベント

展覧会関連イベント





▶別表06

▶別表
01-04

▶別表07

・「RGB」No.15
・「ピコラ」第18号



月	1994年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 コレクション展 その他 	▶別表01 開館5周年記念 シカゴ美術館展 近代絵画の100年(8月-9月) コレクション展 第2期(9月-12月)	開館5周年記念展 恩地孝四郎 色と形の詩人(10月-11月)	ピーター・ミラー展(10月-11月)	20世紀美術への眼差し—マーグ・コレクション(11月-1月) IN THE NATURE—風景—ボーデュアン展(11月-12月)	コレクション展 第3期(12月-3月) DEPOSITION クリストフ・シャルル展(1月)	ロバート・フランク ムービング・アウト(2月-4月)	
		 <p>「恩地孝四郎」展の会場風景</p>	 <p>「ピーター・ミラー展」の会場風景</p>	 <p>「ロバート・フランク」展オープニングでのフランク(右)と陰里鐵師館長</p>				
つくる(子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン							・子どものアトリエ展 ・子どものアトリエ展 子どもシンポジウム
事業等	▶別表03 つくる(市民のアトリエ) 一般講座 研究会 ・研究会生(有志)作品展 ・カメラを使わない写真 作品展 ・公開制作 カメラを使わない写真 WS・レクチャー						・研究会生(有志)作品展 ・講座修了生(有志)作品展(2月-3月)	
まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05 教員向け研修 展覧会関連イベント		・美術史講座(10月-11月)				展覧会関連イベント	・子どものアトリエ展 子どもシンポジウム
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06 ・横浜美術館 映画上映会 ・恩地孝四郎展 記念コンサート ・塩の中の存在 パフォーマンス	・横浜美術館 映画上映会	・恩地孝四郎展 記念コンサート		・塩の中の存在 パフォーマンス		・横浜美術館 映画上映会	・ロバート・フランク展 映画・ビデオ作品の上映
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07 ・「RGB」No.16			・「RGB」No.17 ・「ピコラ」第19号		・「RGB」No.18	・「ピコラ」第20号	・「横浜美術館年報」2号 ・「カメラを使わない写真」

1995 平成7年度

02 開館初期 1989-1995年度

1995年度の出来事

▶美術館

- ・事業:「横浜美術館叢書1」を刊行(-2003年度、叢書8冊)
- ・来館者数:989,037人

▶国内文化






- ・安藤忠雄、プリツカー賞受賞
- ・青島幸雄東京都知事、世界都市博覧会中止を決定
- ・植田正治写真美術館(鳥取)開館
- ・千葉市立美術館開館
- ・豊田市美術館(愛知)開館
- ・白川郷、五箇山の合掌造り集落、文化遺産登録
- ・文化庁の「ナショナル・ギャラリー調査研究会」基本構想案策定

▶国内外の動向

- ・ジャック・シラク、フランス大統領就任
- ・オウム真理教教祖、麻原彰晃(松本智津夫)逮捕
- ・ミャンマーのアウンサンスーチーの自宅軟禁解除
- ・ベトナム、アメリカと国交正常化
- ・村山談話
- ・「がんばろう KOBE」流行語
- ・終戦50周年
- ・橋本龍太郎内閣発足
- ・李登輝、初の直接選挙で中華民国総統就任

月	1995年度
	みる(展覧会)
	<input type="radio"/> 企画展 <input type="radio"/> コレクション展 <input type="radio"/> その他
	つくる(子どものアトリエ)
事業等	つくる(市民のアトリエ)
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等
	国際発信
	出版

月	4月	5月	6月	7月	8月
▶別表01	拡張するガラス—美の表現者たち(4月-6月)		横浜市蔵ネイラー コレクション特別公開(7月)		20世紀美術の挑戦—ルート ヴィヒ美術館展(8月-10月)
	コレクション展 第1期(4月-8月)・全館コレクション展(7月)				
	方振寧展 永遠の空(5月-6月)		金兌赫版画展(6月-7月)		
	「コレクション展 第1期」の展示風景		鑑賞の手引き		
▶別表02	学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン				
	個人の造形講座 発泡スチロールで船を作ろう(8月)				
▶別表03	一般講座 研究会				
	・研究会生(有志)作品展 ・講座修了生(有志)作品展			・中学生講座(7月-8月) ・講座修了生(有志)作品展 ・研究会生(有志)作品展	
▶別表04,05	教員向け研修				
	・「拡張するガラス」展 国際シンポジウム			展覧会関連イベント	
▶別表06	・横浜美術館 映画上映会				
▶別表01-04	・「拡張するガラス」展 国際シンポジウム				
▶別表07	・「RGB」No.19		・「RGB」No.20		

月	1995年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業等	みる(展覧会)	▶別表01 20世紀美術の挑戦—ルートヴィヒ美術館展(8月—10月) コレクション展 第2期(9月—12月) 大岩オスカル幸男展 FLOWER(9月—10月)	紫紅と靱彦(10月—11月)	オランダ クレラー=ミュラー美術館所蔵 ゴッホ展(12月—2月)	コレクション展 第3期(1月—3月) ルイス・ボワロ写真展(1月)				
	つくる(子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン ・サウンドパフォーマンス/ フロム・スクラッチ							・ロンドンの子どもたち展 ・ロンドンの子どもたち展/美術館教育シンポジウム
	つくる(市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会 ・公開制作 海へそして海から内へ—記憶の記録—共同制作等 ・海へそして海から内へ—記憶の記録—展							・講座修了生(有志)作品展 ・研究会生(有志)作品展
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05 教員向け研修 展覧会関連イベント ・美術史講座・美術講座(10月—11月)							・ロンドンの子どもたち展/美術館教育シンポジウム
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06 国際発信							・横浜美術館 映画上映会
	国際発信	▶別表01-04							・ロンドンの子どもたち展/美術館教育シンポジウム
	出版	▶別表07 ・「RGB」No.21 ・「ピコラマガジン」第21号							・「ピコラマガジン」第22号
		 「大岩オスカル幸男展」の展示風景		 「ゴッホ展」の入り口前に行列をなす来館者		 ・ロンドンの子どもたち展 ・ロンドンの子どもたち展/美術館教育シンポジウム			
			 ・公開制作 海へそして海から内へ—記憶の記録—共同制作等 ・海へそして海から内へ—記憶の記録—展						
					 ・「RGB」No.22 ・「横浜美術館叢書1」				